

## 3月定例会 2/17~3/24

# 令和4年度予算を可決

3月定例会では、総額346億9500万円とする令和4年度一般会計予算案をはじめ、4特別会計予算案および公共下水道事業会計予算案を審議し、いずれの議案も賛成多数で原案のとおり可決しました。(2面に総括質疑、総括表、3面に討論)

また、追加で1件の一般会計補正予算案が提出され、原案のとおり可決し、総額を383億8155万2000円としました。市長提出議案はほかに、「特別職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」などの議案22件が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。

議員提出議案1件を可決(下段参照)、個人から提出された陳情2件については、いずれも不採択としました。一般質問は、3日間行われ、17人の議員が市政に対する考え方などについて執行機関に説明を求めました。(4面・5面に一般質問) また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う議会対応として、一般質問の制限時間の短縮等を実施しました。(6面参照)



## 新東名高速道路現場視察の様子

(高取山トンネルにて ①③トンネル内部 ②伊勢原側入り口付近)

## ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議

ロシアは、去る2月24日にウクライナへの侵略を開始し、一般市民を含め多数の犠牲者が出ている。

武力によるロシアの攻撃はウクライナへの重大な主権侵害であり、国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かし、かつ明らかに国連憲章に違反する行為であり、断じて容認できない。

そしてまた、ロシアのプーチン大統領が核兵器使用を示唆したことは、唯一の被爆国として断じて許すことはできず、強い憤りを感じる。

よって、伊勢原市議会は、ロシアによるウクライナへの攻撃や主権侵害に対し厳重に抗議の意を表するとともに、ロシア軍を完全かつ無条件で即時に撤退させるよう、国際法に基づく誠意を持った対応を強く求める。

政府においては、ウクライナに在住する邦人の安全確保に全力を尽くすとともに、関係各国及び国際社会との緊密な連携のもと、厳格かつ適切な対応を講じられるよう強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月22日

伊勢原市議会

## 主な可決議案

### 令和3年度一般会計補正予算(第10号)

第10号の補正予算では、①新型コロナウイルス感染症への対応経費で、休日夜間急患診療所等への支援に係る経費および図書館の電子書籍購入費の追加。また、国の補助を活用し、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費の事務経費を追加するとともに、小中学校における感染防止対策に係る経費、②国の補正予算を活用し、保育士等の処遇改善への支援等の補助事業に対応す

るほか、道路整備、公園整備、学校のトイレ改修等の建設事業について計画を前倒しして実施するための経費、③企業版ふるさと納税を活用し、小中学校で使用する通訳機を購入するための経費、④2年度決算に基づく、国県支出金等の精算、⑤歳入の整理として、国民健康保険事業特別会計繰出金の財源を整理するとともに、普通交付税および臨時財政対策債について、変更決定等に基づき金額を整理するため、8億9581万2000円を追加し、予算総額を383億7905万2000円としました。

国民健康保険条例の一部を改正する条例  
 全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の施行に伴う政令の施行に伴い、未就学児に係る国民健康保険の被保険者均等割額を減額するため、所要の改正を行いました。  
 小児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例  
 小児医療費助成に係る所得制限の適用範囲を見直し、養育者の医療費負担を軽減するとともに、子育て支援施策の一層の

充実を図るため、所要の改正を行いました。

### 令和3年度一般会計補正予算(第11号)

追加議案で提出された第11号の補正予算では、企業版ふるさと納税を活用し、市庁舎に授乳室を設置するとともに、伊勢原市体育館へのデジタルスポーツカウンスターの設置および行政センター弓道場的場の照明のLED化をするため、250万円を追加し、予算総額を383億8155万2000円としました。



市議会でもウクライナ避難民等支援のための活動を行っており、3月定例会ではウクライナ国旗をモチーフとした缶バッジを着用して本会議に出席しました。